

第 4 回高校生国際シンポジウム」で全部門入賞

1 高校生国際シンポジウムとは

2月8日(金)～9日(土)、鹿児島市で一般財団法人 Global Academy が主催する第4回高校生国際シンポジウムがありました。このシンポジウムは、高校生による研究発表コンテストのほか、各界の著名人によるパネルディスカッションやゲスト講演も行われる大会で、鹿児島の高校生にとって、地元で一流に触れることのできる大変貴重な機会となっています。研究発表には、全国から多数の参加希望があり、予備審査によって、スライド発表4分野(地域課題、国際問題・環境・観光、生物、工学・基礎科学)に37本、ポスター発表4分野(国際課題・観光、国内課題、地域課題、自然科学)に43本が発表資格を獲得し、参加しました。

2 出場全4部門が入賞

本校からは、生物班がスライド生物分野、地学班と化学班がスライド工学・基礎化学分野で、物理班がポスター自然科学分野で出場し、地学班が最優秀賞、物理班が優秀賞、生物班と化学班が優良賞を獲得しました。最優秀賞の地学班は、7月にシンガポール南洋工科大学で開催予定の「Global Link Singapore」に参加する資格を得ることができました。



3 来年度に向けて

本校生は、他校の発表やパネリストや審査員との交流会を通して、大変刺激を受けた様子でした。SSH指定2年目となる来年度は、普通科生の課題研究も本格化するので、その発表の場としてより多くの分野で本大会に出場できることを期待しています。



最優秀賞の地学班



全部門で入賞



パネリストと高校生



牧園中学校で科学実験教室



2月20日(水)、霧島市の牧園中学校で、キャリア教育の一環として、1・2年生を対象とした「高校ワークショップ」が行われ、本校も依頼を受け参加しました。本校ではSSHのアウトリーチ活動として位置づけ、理数科生3名による科学実験教室を行いました。液体窒素を使った実験も、中学生の興味を引いた様子でしたが、それ以上に注目されたのは本校生のプレゼンテーション力だったようで、上手なプレゼンに感激して、「ぜひ国分高校の理数科に行きたい」という生徒が数多く現れました。地域の理数科教育力の向上に多少なりとも貢献できました。

